

令和3年度事業報告

一般社団法人日本音響材料協会

1. 継続事業(公益事業)

(1) 継-1 事業 (JIS 原案作成団体業務)

特になし

(2) 継-2 事業 (機関誌発刊等の出版事業)

1) 機関誌「音響技術」通巻 194 号～198 号の発刊

198 号までの編集会議を開催し、197 号までの4号について発刊した。

令和3年12月に編集委員に新 Media-kumo(クラウド・ファイリングシステム)の利用を紹介
執筆原稿の B5 版テンプレートの改訂を実施

- ・NO.194 号(令和3年6月発刊) : 令和3年1月16日編集会議
- ・NO.195 号(令和3年9月発刊) : 令和3年4月3日編集会議
- ・NO.196 号(令和3年12月発刊) : 令和3年7月8日編集会議
- ・NO.197 号(令和4年3月発刊) : 令和3年10月19日編集会議
- ・NO.198 号(令和4年6月発刊予定): 令和4年1月20日編集会議

2) DVD 販売に伴う機関誌「音響技術」の新規顧客の獲得

「音響技術」の紙面に毎号 DVD の紹介

3) 「集合住宅のリフォームと音」の販売

「集合住宅のリフォームと音」と「マンションの音のトラブルを解決する本」と対で販売
井上先生より日本建築学会に著書の紹介

4) 『音響技術史・音響材料を中心に』の編纂の推進

「音響技術」200 号: 記念号に向けての PJ 立ち上げ
企画案作成

第1編: 音響材料協会、音響技術の歴史と現状 (寄稿+座談会、30 頁)

第2編: 建築音響関連技術の変遷と現状、将来 (70 頁)

1. 建築音響関連技術の変遷 (寄稿、40 頁)

2. 建築技術と音響技術の現状と将来 (座談会、30 頁)

第3編 建築音響入門 (寄稿、40 頁)

2. その他事業(収益事業)

(1) 他-1 事業 (測定、検査等受託業務事業)

1) 音響材料及び建築物の音響性能調査、分析業務の受、委託の拡大

KI 音響: UR1,320 千円(令和3年度スラブの一体性調査その他関連試験の実施)

ゲルバ・ジャパン 2,000 千円(建材試験センターの設備の使用不可)で中止

2) 会員等からの受託により一般財団法人小林理学研究所への測定依頼業務

令和3年度の小林理学研究所での測定なし

3)新規入会時【音響技術】会員の頁に技術原稿の掲載を条件に賛助会員を勧誘
会員の頁の掲載を条件に広告掲載を1年間依頼(セラーズ)

4)理事会メンバー会社並びに正会員への広告掲載のお願い
新規にゼオン化成様広告掲載

(2) 他-2 事業 (講習会開催事業)

来年度もコロナ禍での開催となるため、感染予防を徹底する。

基礎講習会 11月に受講者26名で実施
技術講習会、勉強会はコロナ禍で中止
今後はWEB会議での実施を検討

3. 次期役員について

(1)次期理事

ゼオン化成(株) 三木良明氏 (前監事を理事に)
旭ファイバーグラス(株) 幾田哲二氏 (正会員を理事に)

5月の総会にて承認された。

その後の理事会で三木良明理事が、理事長となった。

4. 事務局運営体制の検討の推進

技術講習会、賀詞交歓会等中止で、和田氏の協力を得ながら何とか一人工で運営
「音響技術」の管理のシステム化は未実施

5. 会議、定例行事

(1)臨時、定時総会 令和3年5月21日(金) (於：日本ガラス工業センタービル B1 会議室)

令和3年度 第72回臨時総会

日 時 令和3年5月21日(金) 11:15~11:30

場 所 日本ガラス工業センタービル B1 会議室

東京都新宿区百人町 3-21-16

・令和3年度第72回一般社団法人日本音響材料協会臨時総会資料(議案書)

[審議事項]

第1号議案

「定款改定について」

定款第19条「(役員の設定)(1)理事5名以上10名以内」の項について、上限数を11名とする改定の承認を求め、審議の結果、議長は議決を求め全員異議無く承認された。

令和3年度 第73回定時総会

日 時 令和3年5月21日(金) 11:30~12:30

場 所 日本ガラス工業センタービル B1 会議室

[報告事項]

令和3年度事業計画と予算について

3月度理事会で審議、決済した令和3年度の事業計画及び予算について説明があり、全員異議無く、報告を承認した。

[審議事項]

第1号議案

「令和2年度事業報告の件」

第2号議案

「令和2年度会計報告及び監査報告の件」

議長は議決を求め全員異議無く、第1号議案及び第2号議案を原案通り可決、承認した。

第3号議案

「令和3年度理事選任の件」

議長は定款第17条第5項により候補者1人1人の議決を求めた。その結果、

三木良明氏を全員異議無く、可決、選任した。

次いで幾田哲二氏を全員異議無く、可決、選任した。

令和3年度 第一回臨時理事会

日 時 令和3年5月21日(金) 11:00~11:15

場 所 日本ガラス工業センタービル B1 会議室

議事事項

(1)第1号議題

「定款改定について」

定款第19条「(役員の設置)(1)理事5名以上10名以内」の項について、上限数を11名とする改定について総会に諮りたく承認を求め、審議の結果、第73回臨時総会議案として全員異議無く原案通り可決、承認した。

令和3年度 第二回定時理事会

日 時 令和3年5月21日(金) 12:30~13:00

場 所 日本ガラス工業センタービル B1 会議室

議事事項

(1)第1号議題

「理事長職辞任の申し出について」

専務理事から理事長職辞任申し出についての詳細説明があり、審議の結果、大賀理事長辞任について全員異議無く原案通り可決、承認した。

(2)第2号議題

「理事長選任について」

専務理事から理事長選任についての詳細説明があった。議長は全員に候補提案の要請をしたが、三木理事が立候補し、審議の結果三木理事の理事長を全員異議無く可決、承認した。議長は、その他の議題提議または意見を求めたが特に無く、全議事を終了し閉会を宣した。

以上

第三回定時理事会

日 時 : 令和3年11月5日(金) 11:00 ~12:30

場 所 : 日本ガラス工業センタービル B1 会議室

議事事項

第1号議案

「令和3年度中間業務報告及び会計見直し報告の件」

専務理事より中間期の業務報告及び上期決算と下期見直しについての報告があり、全員より承認を得た。

上期は、前年度同様コロナ禍で協会活動が制約を受けたことで、当初予算よりも収益が大幅に悪化した。経費削減で収支状況はどうか黒字を確保する見込みとの報告があった。

第2号議案

「令和4年度編集委員会編成並びに理事選任（重任）検討の件」

令和3年5月開催の定時総会において、新規に就任したゼオン化成(株) 三木良明理事、旭ファイバーグラス(株) 幾田 哲二理事は、任期の2年を継続し、大賀理事を除き、その他の理事、監事は、重任ということで、令和4年3月開催の定時理事会において、次期理事並びに監事候補とすることについて全員異議無く、可決承認した。

ただし、大賀理事については、身体の具合により重任に応じられない旨の申し出があり、退任として進めたいと報告があった。

編集委員会は、井上理事の提案により、200号の記念号の関係もあるので、令和5年6月発刊号までの1年間は、現在の委員が継続する旨を委員に打診していくことを承認した。

第3号議案

「令和4年1月21日賀詞交歓会開催の検討」

専務理事より賀詞交歓会会場のアルカディア市ヶ谷とのやり取りを報告し、情勢を判断の上、中止することで全員異議無く、可決承認した。

中止の連絡を【音響技術】196号に掲載し、経済産業省と各会員には連絡する。

第4号議案

[その他]

(1) 「【音響技術】200号の特集の検討」

令和4年12月発刊予定の【音響技術】200号の記念号に当たり、井上理事より記念企画について、「過去・現状・未来」をキーワードとした特集としたいとの提案があり、「音材の歴史」「音響技術の現状」「音材の将来」について、編集委員会と理事会が、協力して発刊することで承認された。

ホームページの改定の提案があり、閲覧数の減少の歯止め対策として、令和4年度予算で検討する旨承認された。

(2) 現在当協会で使用しているクラウド「KU-MO」の一部を日東紡社友会が使用することについては、契約を締結することで、可決承認した。

運営委員会抜粋

[令和3年4月]令和3年4月度運営委員会議事録

日時：2021年4月15(木) 13:30~14:40

場所：日本音響材料協会 会議室

1. 会員の頁について
 - ・ 194 号 (2021 年 6 月発刊)
 - 特集「初心者のための音環境のアンケート調査・心理評価実験 超入門」
 - (1) 技術原稿：日本環境アメニティ、サンオー (新規賛助会員)
 - (2) やさしい防音講座連載 3 回目
 - ・ 195 号 (2021 年 9 月発刊) 特集「環境振動に関わる評価・設計・測定の最新動向」
 - (1) 技術原稿：マグ・イズベール、 ※リオンに原稿依頼を打診する (岡本)
 - (2) やさしい防音講座連載 4 回目
 - (3) 7 月に基礎講習会実施の場合は基礎講習会開催報告
 - ・ 196 号 (2021 年 12 月発刊)
 - (1) 技術原稿 吉野石膏、(東邦亜鉛とピンチブロックにも打診予定)
 - (2) やさしい防音講座連載 5 回目
 - (3) 7 月に基礎講習会実施の場合は基礎講習会 Q&A
2. 【音響技術】 関係
 - (1) HP 関係 *資料 1 「ユーザー数まとめ_HP」 参照
令和 3 年 3 月閲覧者数 1069 人、傾向は変わらず、対前年-20%くらいで推移
 - (2) 購読会員 退会が増加傾向
新規入会：クヴァドラジヤパン (Kvadrat Japan)
退会：九州防衛局、響栄学園、名古屋大学生協
 - ・ 井上先生の「マンションの音のトラブルを解決する本」販売検討中：8 割で仕入れ
3. 3 月の理事会説明
 - ・ 賛助会員の高山工業から脱会の連絡有り
5. 編集委員会に出すテーマの件：資料 2 「執筆要綱改訂案」 参照
 - ・ 本日の編集委員会に宮尾顧問作成の資料「執筆要綱意見回答」「執筆要綱要綱改訂案」「執筆票改訂案」及び「アンケート表」を提出する。
6. 【音響技術】の「正会員主要製品・業務内容」の確認依頼の件

[令和 3 年 5 月] **令和 3 年 5 月度運営委員会議事録**

日時： 2021 年 5 月 20 日(木) 14:00～16:00

場所：硝子繊維協会 会議室

1. 「音響技術」
 - ・ 9 月発刊予定の 195 号へのリオン社への執筆依頼済み

HP の閲覧状況

1000 件/月あたりで推移している。

前年約 20%ダウンは、今年度の推移と同じ。
2. 音響技術の執筆要項

石渡さんの案と吹き出しのついた和田さん案を編集委員で検討する。

渡辺さんの案が A4 サイズとなっているところを確認する。
3. 業務監査

問題ないとのことなので、5/22の理事会で報告予定

4. 決算報告

決算黒字 109.9 万円 残高 423 万円であるが、HP の改修予算の 135 万円が未執行のため黒字決算となったが、実質はあまり状況は良くない。

- ・コロナ禍で購読会員が経費削減のため減っているような状態。(音材)

購読会員の増減策検討

5. 基礎講習会

10月6日(水)で実施予定。

吉野石膏社虎ノ門会議室を予約

技術講習会等

コロナ禍で、オンライン講習については日本音響の山梨社長から日本音響が使用している講習会のシステムを利用してはとの意見をもらっている。

6. 会員の頁について

- ・防音構造、新技術、物件紹介、施工事例、作品紹介なども候補として入れてみては。

[令和3年6月]6月度運営委員会議事録

日時： 2021年6月17日(水) 14:00~16:00

場所：硝子繊維協会 会議室

[議 事]

会員の頁について

- ・194号(2021年6月発刊)特集「(仮題)初心者のための音環境のアンケート調査・心理評価実験<超>入門」

(1) 技術原稿:日本環境アメニティ、サンオー入稿

(2) やさしい防音講座連載

- ・195号(2021年9月発刊)特集「(仮題)環境振動に係わる評価・対策・測定の最新動向(案)」

技術原稿:マグ・インペール、小林理学研究所

やさしい防音講座連載

- ・196号((2021年12月発刊)特集 7月編集委員会で決定

(1) 技術原稿:吉野石膏 リオン

(2) やさしい防音講座連載

- ・「入門講座」について(資料1)

案1:各社新入社員教育などに使用しているレベルの資料を集約する。

専門用語などは極力無くして、図や写真などを多く使用した解りやすい資料にする。

案2:「テーマ」をいくつか挙げて、それに対して得意とする分野を得意とする会社が執筆する。

案3:現HPのQ&Aを利用する。(Q&Aの更新、ブラッシュアップにもつながる。)

⇒ 次回運営委員会で再度議論する。

4.日程関係、その他

(事務局)

- (1)10月6日基礎講習会の開催について、吉野石膏虎ノ門会議室予約済み

福満委員、岡本委員より振動関係で山野委員に役割分担、原稿内容、講演時間等を依頼する。

原稿の準備—福満リーダー、講習会場との連絡—和田

※参加者対応—申込受付・連絡、領収書発行—（保留）

各社メールの規制があり、他からのメール受発信は難しい。

当日対応—コロナ対策の実施（除菌スプレー、フェースシールド、関係者の弁当の発注等）—松本リーダー

※参加者対応の申込受付・連絡については、メール受信などの問題もあり、担当は再度検討とする。

基礎講習会の資料作成の打合せ

[令和3年7月]7月度運営委員会議事録

日時： 2021年7月15日(水) 14:00～15:20

場所： 硝子繊維協会 会議室

[議事]

報告事項

・理事長変更登記済（7/1）、銀行(4行)への代表理事変更手続き実施中、税金支払い関係済。

1. 会員の頁について

・195号(2021年9月発刊)特集「(仮題)環境振動に係わる評価・対策・測定の最新動向(案)」

(1) 技術原稿:マグ・イゾベール、小林理研

(2) やさしい防音講座連載

・196号(2021年12月発刊)特集「床衝撃音対策の新しい技術(174号)」から5年を経過して

(1)技術原稿:吉野石膏、リオン

(2)基礎講習会(10/6)の報告&Q&A

(3)やさしい防音講座連載

・197号(2022年3月発刊)特集「10月19日編集委員会で決定、担当:岡本主担当」

(1)技術原稿:東邦亜鉛かピンチブロック(未定)

2. 【音響技術】関係

・購読会員3会員減 購読会員を増やす対応の実施が必要

・バックナンバーのネット販売を検討

・令和3年6月のHP閲覧状況(資料1)⇒6月のユーザー数は、951(前年比▲35%)

閲覧者数の減少とQ&A閲覧数の減少との関連などの傾向を分析し、HP改定する必要あり。

・井上先生の「マンションの音のトラブルを解決する本」アサ出版と最終交渉中、販売可能大図る。

4. 日程関係、その他

(1)10月6日基礎講習会の開催について(吉野石膏虎ノ門会議室)

応募人数:30名 現在9名(7/15現在)

福満委員、岡本委員より振動関係で山野委員に役割分担、原稿内容、講演時間等

(先週3名で1回目の打合せ実施済)

原稿の準備—福満リーダー、講習会場との連絡—和田

参加者対応—申込の受付、連絡、領収書発行—(和田)

当日対応—コロナ対策の実施(除菌スプレー、フェースシールド、関係者の弁当の発注等)—(松本リーダー)

(2)Web配信(オンライン講習会)

今後の課題として検討していきたい。

貸し会議室と Web 配信を一緒に提供する会社がある (TKP など)。
硝子繊維協会でも Web 配信を実施しているので情報を入手する。

[令和3年8月]8月度運営委員会議事録

日時： 2021年8月19日(木) 14:00~15:20

場所：硝子繊維協会 会議室

[議事] 運営委員会

1. 会員の頁について (事務局)

- ・ 195号 (2021年9月発刊)

特集「(仮題) 環境振動に係わる評価・対策・測定の最新動向(案)」 平光、阿部編集委員担当。

(4) 技術原稿：マグ・イゾベール、小林理研

小林理研に原稿内容、掲載写真の承認をもらう予定。⇒8/23 測定項目は従来のものだけとなりました。

(5) やさしい防音講座連載 防音の基礎知識最終回

- ・ 196号 (2021年12月発刊) 特集「床衝撃音対策の新しい技術(174号)」から5年を経過して?)

現在執筆依頼済み。クリスマス頃に発送予定。

(1) 技術原稿：吉野石膏 リオン リオンは快諾して頂いている。

(2) 基礎講習会報告&基礎講習会のQ&A いつものようにまとめる。

(3) やさしい防音講座連載

ホームページのQ&Aを掲載する件 ⇒ Answerが各社のweb.に飛ぶ内容にしてある。

企画案について、運営委員会でヒアリングしたテーマの中からの選定を考えている。

① 技術原稿：東邦亜鉛かピンチブロック。

2. 【音響技術】関係

- ・ 令和3年7月のHP閲覧状況

大槻幹事より検索ツールなど外部委託する等の提案もあったので、現在ヨシダ印刷に確認中。

- ・ 井上先生から日本建築学会に出版本の推薦を依頼する方向で進めている。

- ・ 井上先生の「マンションの音のトラブルを解決する本」アサ出版から7掛けで購入可能となる。

3. 日程関係、その他 (事務局)

(1) 10月6日基礎講習会の開催について (吉野石膏虎ノ門会議室)

応募人数：30名 現在11名 (8/2現在)

今日8/18段階で16人+NOE3人+ヤクモ2名。計21人 (NAE8人含む)

前回24人と同程度は見込めそう

[会議後分科会]

出席：岡本 (日本環境アメニティ)、山野 (ヤクモ)

小池、福満、(日本音響エンジニアリング) (記)

[検討内容] 音響基礎講習会の振動の防止に関する講習内容のすり合わせ

第3テーマ「騒音・振動の防止」を騒音関連と振動・固体音関連の2テーマに分けて独立。

[令和3年9月]9月度運営委員会議事録

日時： 2021年9月16日(木) 14:00~15:05

場所：硝子繊維協会 会議室、Teams 会議

[議 事]

1, 会員の頁について (事務局)

- ・195 号(2021 年 9 月発刊)特集「(仮題)環境振動に係わる評価・対策・測定の最新動向(案)」
 - (6) 技術原稿:マグ・イゾベール、小林理学研究所
 - ※今回は小林理化学研究所の後に前 3 にある協会の PR 記事を移し、委託事業を増やすことを計画
- ・196 号((2021 年 12 月発刊)特集 特集「床衝撃音対策の新しい技術」)
 - (3) 技術原稿:吉野石膏、リオン
 - (4) 基礎講習会報告&基礎講習会の Q&A
 - ※「やさしい防音講座」の連載が前号で終了してしまい、197 号以降の講座については要検討
- ・197 号(2022 年 3 月発刊)特集「10 月 19 日編集委員会で決定、担当:岡本主担当」
 - (1) 技術原稿:ピンチブロック、東邦亜鉛、ヤマハについては未回答
 - ※HP の Q&A は、各社の HP へアクセスするようになっているが、対応する解説があれば少し膨らませて原稿を作成してください。

(1)10 月 6 日基礎講習会の開催について(吉野石膏虎ノ門会議室)

応募人数:30 名 現在 26 名

福満委員、岡本委員より振動関係で山野委員に役割分担、原稿内容、講演時間等

原稿の準備—福満リーダー、講習会場との連絡—和田

参加者対応—申込の受付、連絡、領収書発行、受付飛沫シート—和田・小松

当日対応—コロナ対策の実施、関係者の弁当の発注等—松本氏入院のため事務局担当

基礎講習会報告—小松、基礎講習会 Q&A—岡本

当日の出版本,DVD を持参—猪脇、和田

(2)技術講習会の実施について

WEB での講習会を検討していく必要があるのではないかと。

有料ということになるとそれなりの対応が必要なので、ウェビナーを実施している会社などを参考にして実施することを検討したい。

(3)メーカーによる講習会について

基礎講習会とは別に、協会主催で各メーカーによる 30 分程度のウェビナーで講習会を実施したらどうか。

音響技術バックナンバー159 号がよく出ているので、159 号の記事を参考にしてみることを提案。

(4)音響技術 200 号の内容について

記念号としての記事内容を検討する。

・日本音響材料協会の歴史的な内容だけでなく、基礎知識から材料の使い方など技術的内容にしたらどうか。

・「現在困っている事柄が将来はこのように変わっていく」など未来へ向けた内容がよいのではないかと。

・新たな執筆者を探し出し、未来への記事を執筆していただく。

基礎講習会の資料の打合せ

1. 各人の原稿を簡単に説明
2. 重複部分がないかのチェック
3. 時間の中で十分説明できるように原稿の枚数を調整

4. 時間の都合が付かず、順番の入れ替え
5. 資料原稿の依頼事項
 - (1) 日付は西暦で統一
 - (2) 右下にページ数を記載
 - (3) 資料にゼオン、東邦亜鉛の遮音シートの商品を紹介
 - (4) 納期は9月21日(火)午前中 山野さんは夕方まで

[令和3年10月]10月度運営委員会議事録

日時： 2021年10月21日(木)14:00~15:00

場所：硝子繊維協会 会議室、Teams 会議

[議 事]

2. 会員の頁について (事務局)
 - ・196号(2021年12月発刊)特集(仮題)「床衝撃音対策の新しい技術(174号)」から5年を経過して

(1)技術原稿：吉野石膏(10月末入稿予定) リオン(入稿済み)

(2)基礎講習会:

- ・基礎講習会報告原稿 小松(入稿済み)

- ・基礎講習会のアンケート結果 岡本

騒音・振動が分かれていなかったの次回変更要。

会社研修の一環として上司からの指示で出席している人が多い。

難易度はちょうど良いとの意見が多かった。時間配分も良いとの評価。

今後希望する講習内容に関してはニッチな項目が多く、その項目で講習会実施は難しい。

- ・基礎講習会 Q&A

Q&A に関しては担当を割り振って回答を作成、質問者にはメールで回答する予定。

音響技術 196号に載せる Q&A 原稿は11月5日までにまとめる。岡本・福光

- ・197号(2022年3月発刊)特集(仮)「音とスポーツ」、担当：岡本主担当、安田

(1)技術原稿：ピンチブロック、東邦亜鉛

(2)宮尾顧問の Q&A

2. 【音響技術】関係

3. 日程関係、その他 (事務局)

(1)10月6日基礎講習会の実績

応募人数：30名 参加人数：26名

収入 10,000円×26名=260,000円

支出 会場費 40,000円

諸経費 16,000円

テキスト代 20,000円

収支合計 184,000円

(2)令和4年2月 技術講習会のWEB開催検討

最低5人集めないと赤字になるので再度事務局で検討する。

(3) 200号 (来年12月発刊)

記念号なので特集を組みたい。

音響材料の「過去・現在・未来に向けて」の座談会実施が案として出ているが、

費用面もあるので今後の検討して行く。理事会・編集委員メンバーにも特集に参加して頂く。

- (4) 音響技術の最後の頁の自社商品の商品番号・商品名を再確認要！(再度各社で確認お願いします)

[令和3年11月]令和3年11月度運営委員会議事録

期日:2021年11月18(木) 14:00~16:00

場所:日本音響材料協会 会議室 (Teams)

1.会員の頁について

(事務局)

- ・196号 (2021年12月発刊) 特集(仮題)「最近の床衝撃音対策技術」
 - (1)技術原稿:吉野石膏 リオン ⇒入稿済み
 - (2)基礎講習会報告&基礎講習会のQ&A ⇒報告記事は小松氏作成、Q&Aは岡本・福満両氏にて作成中(初稿が回ってきた段階)。
- ・197号 (2022年3月発刊) 特集(仮)「音とスポーツ」、担当:岡本主担当、安田
 - (3)技術原稿:ピンチブロック、東邦亜鉛
- ・198号 (2022年6月発刊) ※次期編集委員について編集委員会で検討中
技術原稿:旭ファイバーグラス様にて検討 + 研究会員・賛助会員から候補

2.【音響技術】関係

3. 出版本「集合住宅のリフォームと音」

- ・出版本「集合住宅のリフォームと音」と井上先生の「マンションの音のトラブルを解決する本」を対で販売。1組販売(先月販売なし)

4. 日程関係、その他

(事務局)

(1) 令和3年11月5日の理事会報告

- ・200号記念号:井上先生から企画案「過去・現状・未来」をキーワードとした特集号としたい。具体的には?資料4:音響技術200号の企画を参照のこと。

ページ数は150ぐらいで予定、対談企画(概略コスト2時間の文字起こしで約5万円)

その他運営委員会からアイデア募る:

100号は純粋な技術資料であったが、歴史や未来の話、材料だけに限らず音響技術全般に関する内容で構成していくのは良い(福満氏)。

(2) R4年2月 技術講習会 WEB講習会予定(WEB講習会のプロジェクト立ち上げ?)

有料セミナーであることを考えると回線等に不安あり。また準備期間が少ない⇒2月開催は中止

⇒R4年は7月基礎講習会、11月技術講習会と従来のスケジュールに戻して進めていく。

[令和3年12月]令和3年12月度運営委員会議事録

2021年12月23日(木) 15:00~16:30

場所:日本音響材料協会 会議室 (Teams)

1. 会員の頁について

- (1) 音響技術 NO196 号 2021・12・23 発送
会員の頁 吉野石膏社、リオン社、基礎講習会の報告、Q&A の掲載
- (2) 音響技術 NO197 号
 - (1) スポーツと音
 - (2) 技術原稿：ピンチブロック、東邦亜鉛
 - (3) Q&A

2. HP の閲覧状況

11 月は 894 件 (-9.4%)

1 月は理事長のあいさつ文を入れる予定。(各理事に了解を得る：猪脇)

3. 音響技術 200 号記念号の企画案

- (1) 事務局担当分の一部を運営委員の方へ分担して欲しい (猪脇)
- (2) 現状で 140 ページになるため追加予算を計上する予定。
- (3) 9 月ごろに投稿が完了して、12 月初旬に発送したい。
- (4) 座談会の原稿は、文字起こし→発言内容確認等
- (5) 第 3 章で室内音場、室内音響設計についてのテーマがあったほうが良い。
- (6) 広告の再依頼：200 号用

4. 理事

- (1) 理事は、重任は了承済み。

[令和 4 年 1 月]令和 4 年 1 月度運営委員会 議事録

期日:2022 年 1 月 20(木) 13:30~15:00

場所：日本音響材料協会 会議室

0.運営委員メンバー紹介

- ・日本音響エンジニアリング 平田様の紹介 (福満委員の後継者)

1.会員の頁について

(事務局)

- ・ 197 号 (2022 年 3 月発刊) 特集 (仮)「スポーツと音」、担当：岡本主担当、安田
 - (4) 技術原稿：ピンチブロック、東邦亜鉛
- ・ 198 号 (2022 年 6 月発刊) 特集は、1 月 20 日編集委員会にて決定
 - (1) 技術原稿：旭ファイバーグラス (近藤様)、⇒日本音響エンジニアリングに変更
テーマ「with+after コロナと音環境」
⇒Meleon (日本音響エンジニアリング) 柱状拡散体を用いた室内音場調整家具⇒198 号の
テーマと合致しそうなので日本音響で技術原稿担当したい (福満委員) ⇒日本音響エンジ
ニアリングを 198 号技術原稿にする (ゼオン化成から変更)。
- ・ 199 号 (2022 年 9 月発刊)
 - (1) 技術原稿：セラーズ(新商品関連?)、ゼオン化成?
- ・ 201 号 (2023 年)
 - ヤマハ? () or ヤクモ? 検討中

2. 【音響技術】 関係 (事務局)

3. 第 200 回記念号について

- ・ 第 200 回記念号の第 1 回、2 回の打合せ報告、3 回目 1 月 17 日打合せ
- ・ 150 ページ程度予定 予算確保する。
- ・ 三編構成の予定である (資料参照のこと)。
- ・ 運営委員会の協力事項 各理事会社に座談会の依頼済み
- ・ 購読会員が減少傾向なので改善していく必要あり。
- ・ 購読会員を増やすには? 興味深い内容にしていくことが必要。・ 試験機関 (工業技術センター等) 大学等 購読を拡大していきたい。現状の購読会員の業種別分析をすることも検討する。
- ・ 小林理研試験受委託の数が減ってきている。今 UR 受委託 1 件 (R3 年度) 今後増やしていきたい。

[令和 4 年 2 月] 令和 4 年 2 月度運営委員会議題について

期日:2022 年 2 月 24(木) 14:00~15:00

場所: 日本音響材料協会 会議室 (web)

1. 会員の頁について (事務局)

- ・ 197 号 (2022 年 3 月発刊) 特集 (仮) 「音とスポーツ」、担当: 岡本主担当、安田
(5) 技術原稿: ピンチブロック、東邦亜鉛 (完了)
(6) Q&A 宮尾顧問提供 (完了)
- ・ 198 号 (2022 年 6 月発刊) 特集 (仮) 「With・After コロナと音環境」、担当: 阿部主担当、平光
※記事は、内閣官房に執筆をお願いしている
(1) 技術原稿: 旭ファイバーグラス、日本音響エンジニアリング
(2) Q&A 以前 HP の質問に対して各社カタログを活用して作成を依頼した内容 (マグイゾベル)
- ・ 199 号 (2022 年 9 月発刊)
(2) 技術原稿: ゼオン化成、セラーズ? or ヤマハ? or ヤクモ?
(3) Q&A 以前 HP の質問に対して各社カタログを活用して作成を依頼した内容 (猪脇依頼)

2. 【音響技術】 関係 (事務局)

- ・ 令和 4 年 1 月の HP 閲覧状況 (* 1)
・ 935 ユーザー、対前年比-10%

3. 第 200 回記念号について

- ・ 第 200 回記念号の第 1 回、2 回の打合せ報告、3 回目 1 月 17 日打合せ
- ① 座談会の 4 テーマについては、1 テーマ 90 分程度、7~8 名の座談会とする。
- ② 座談会やその後のまとめについて、運営委員にも作業を手伝ってもらう予定。
- ③ 150 号と同様に 200 号でも入門編を記載する予定。

5. 日程関係、その他 (事務局)

- ・ 2022 年度基礎講習会虎ノ門ビル予約: 7 月 20 日 (水)
- ・ 講師の予定を再確認する (現在は、ヤクモの山野様、日本音響エンジの根木、小池、平田様は OK) 日本環境アメニティは、再確認する。

- ・購読者の減少を阻止する方法について
- ・毎月、退官などで購読中止の連絡が多い。そのため、井上先生に、大学関係の購読者の洗い出しを行ってもらうこととする。(購読者リストの再確認)。
- ・ホームページの「Q&A」について、見直す(各社で関係箇所を再確認する)。

[令和4年3月]令和4年3月度運営委員会議題について

期日:2022年3月17(木) 14:00~15:30

場所:日本音響材料協会 会議室

1.会員の頁について

(事務局)

- ・197号(2022年3月発刊)特集「音とスポーツ」、担当:岡本主担当、安田(3月24日発送手伝い)

(1)技術原稿:ピンチブロック、東邦亜鉛

(2)Q&A 日本音響材料協会 運営委員会(宮尾顧問提供)

⇒年度末により締切が厳しいため、岡本委員へ協力依頼を行う。

- ・198号(2022年6月発刊)特集(仮)「With・After コロナと音環境」

(1)技術原稿:旭ファイバーグラス、日本音響エンジニアリング

(2)Q&A 以前HPの質問に対して各社カタログを活用して作成を依頼した内容(ヤクモ)回答について確認中。

⇒総論で内閣官房のコロナ審議官へ依頼した。コロナの現状について。

令和5年度から井上先生は編集委員長を辞退されるため、別の委員長を探していただくようお願いしている。

- ・199号(2022年9月発刊)

(1)技術原稿:ゼオン化成、セラーズ? or ヤマハ? セラーズさんへ新商品の広告と技術原稿の催促を行う。

(2)Q&A 以前HPの質問に対して各社カタログを活用して作成を依頼した内容(マグ)

2.【音響技術】関係

(事務局)

⇒音響技術の購読を辞められる方が多いため歯止めをかけたくアイデア募集中。また、音響系の先生が退官される際、御後任の先生より解約されるケースが増えている。

4. 第200回記念号について

- ・第200回記念号の4回目3月11日打合せ

⇒(宮尾顧問)協会への意見については過去にアンケートを取っているが、それ以上の回答が得られるのか?

(猪脇専務理事)理事会で井上先生より各社にA4 1枚に依頼事項をまとめるようお願いするので、運営委員の方も作成に協力をお願いします。

- ・運営委員会の協力事項 各理事会社に座談会のセッティング等

⇒座談会の場所について、Webで参加する方もいるためインターネット環境を構築できているような場所を探している。音源は確実に録れるように専門業者へ依頼する。座談会は2日に分けて4つの議題を進めていきたい。(開催時期:6月)

5. 日程関係、その他 (事務局)

- ・令和3年度理事会報告(3月25日)(案) 令和3年度決算見込み案、令和4年度予算案

⇒大建工業柴田理事が4/1異動により宮本昌二様へ交代予定。

⇒1/20(金)賀詞交歓会予定。

- ・2022年度基礎講習会虎ノ門ビル予約:7月20日(水)

⇒担当等は4/21(木)に決める予定。

[令和4年4月]令和4年4月度運営委員会議題について

期日:2022年4月21(木) 14:00~16:00

場所:日本音響材料協会 会議室

出席者:猪脇専務理事、和田委員、※平田委員、※岡本委員、※松本委員、※近藤委員、※野桑委員、※宮尾顧問、山野委員

※オンライン参加

議事録者:山野

ゼオン化成 4月より小松氏に代わり野桑氏の交代の挨拶

1.会員の頁について

・198号(2022年6月発刊)特集(仮)「With・After コロナと音環境」

(1)技術原稿:日本音響エンジニアリング、旭ファイバーグラス

(2)Q&A 以前HPの質問に対して各社カタログを活用して作成を依頼した内容(ヤクモ)⇒過去のQ&Aを確認します。フォーマット送ってもらい作成する。

・199号(2022年9月発刊)

(1)技術原稿:ゼオン化成、セラーズ(依頼中だが新製品のタイミング間に合わない可能性あり)or ヤマハ(断りの連絡あり)。ダメな場合は、アコス工業、大建工業、パラマウントが候補、今月中には依頼して承諾もらう。

(2)Q&A 以前HPの質問に対して各社カタログを活用して作成を依頼した内容(マグ)

・200号(2022年12月発刊)

記念号(座談会など)

2.【音響技術】関係

(事務局)

・令和4年3月のHP閲覧状況(*1)887ユーザー 前年比-17ポイント

3.第200回記念号について

・井上先生3月理事会にて第200回記念号の内容説明と理事会社へ座談会の依頼

・4月12日編集委員の座談会の打合せ内容報告(*2 資料参照のこと)

・運営委員会の協力事項

理事会社の座談会のセッティング、場所の設定(東京駅周辺など)

5.日程関係、その他(事務局)

・2022年度基礎講習会虎ノ門ビル予約:7月20日(水)(担当振り分け等)

講師以外にHPのお知らせ⇒和田氏(6月発刊分用の紙案内は開催日まで期間が無いので省略)

申込対応⇒山野(受付完了 mail、出欠管理)

受付補助⇒近藤氏(AM,PM)、野桑(PM)

原稿印刷⇒各講師が担当パートを30部印刷して協会へ発送(白黒、表裏、2スライド/1頁)

※製本は協会にて実施。印刷にかかった費用は各社から協会へ請求してください。

・7月の運営委員会を7/21⇒7/14に変更し、講習会の最終確認をその時に行う。

コロナ対策、会場準備(弁当含む)、受付 etc

以上